

伊集院住宅祭で お見せしたものの

モデル住宅展示ゾーン14棟

モデル家族（祖母65歳父40歳母40歳長女11歳）伊集院一家を想定し、この家族構成にふさわしい住宅の設計を、出展13社が競うコンペ形式にした。

街並み展示ゾーン66棟

調和のとれた美しい街並み、心のかような街並みを、その道路ぞいの出展各社が担当してつくり上げお見せした。宮脇檀氏の指導を仰ぎこの住宅祭では最も苦心したと



ここで、街並みづくりの諸問題については、冒頭に掲載したシンポジウム記事をお読みいただきたい。

我が家の工事記録

基礎から完成まで、各工程毎に撮影し、30葉前後の写真をアルバムに貼り「我が家の工事記録」としてご覧いただき、その住いを契約した方にさし上げる。

家が完成してからではわからない部分（基礎・配筋・ジョイント断熱）もよくわかり、貴重なマイホームの記録となっている。

契約図書の公開

建築請負をめぐる契約上のトラブルは、施主の知識不足もその一因。そこで建築現場に契約図書を公開し、施主にシステムを理解していただけるようにした。

モデル庭園コーナー

本住宅祭後援の鹿児島県造園建設業協会と日置地区造園組合の提供で、会場内にモデル庭園を展示し、見学者の目を楽しました。



★写真は左右とも庭園コーナー

スケジュールを決定する。

・29日、事務局事務所において妙円寺住宅祭開催の記者発表。

4月

・準備委員会において、広報計画、現場事務所の設置等について決定。

・17日、妙円寺団地で地鎮祭。

・工程分科会において工程写真アルバム作成について検討。

5月

・後援・協賛について決定。

・施工協力を設置。

・第1回建築現場見学会（31日1日）

6月

・第2回建築現場見学会（14、15日）

・実行委員会に建築家宮脇檀氏を迎え外構設計の詳細について検討する。

・第3回建築現場見学会（28、29日）

7月

・第4回建築現場見学会（26、27日）

・南日本住宅講座開催（27日）

8月

・第5回建築現場見学会実施。

9月

・12日、開会式。街づくりに関するシンポジウム開催。住宅相談コーナー開設。住宅に関するアンケート実施。

・住宅設備機器フェア開催。

・15日、第2回南日本住宅講座。

10月

・12日、閉会。会期31日間の総入場者数は一万人を超えた。